

## 仕様変更のご案内

### FL1F 形スマートリレー

FL1F 形スマートリレー、WindLGC、FL1F Web Editor および FL1F Access Tool の一部の、機能の仕様変更および機能の追加をいたします。

#### 実施時期

2025年1月以降出荷分より順次実施

※実施時期前であっても、受注状況に応じて、変更品を出荷させていただく場合があります。

#### 対象製品

FL1F 形スマートリレー ベースモジュールおよびプログラミングソフトウェア WindLGC

#### ・ハードウェア

	品名	形番
現行版	FL1F 形ベースモジュール (FS01~FS05)	FL1F-H12RCE, FL1F-H12RCA, FL1F-H12RCC FL1F-B12RCE, FL1F-B12RCA, FL1F-B12RCC
変更後	FL1F 形ベースモジュール (FS06)	FL1F-H12SCD

#### ・プログラミングソフトウェア

	品名	形番
現行版	WindLGC (Ver.8.2.0) FL1F Web Editor (Ver.1.0.0) FL1F Access Tool (Ver.2.0.0)	FL9Y-LP1CDW
変更後	WindLGC (Ver.8.4.0) FL1F Web Editor (Ver.1.2.0) FL1F Access Tool (Ver.2.1.1)	

## ソフトウェア仕様変更

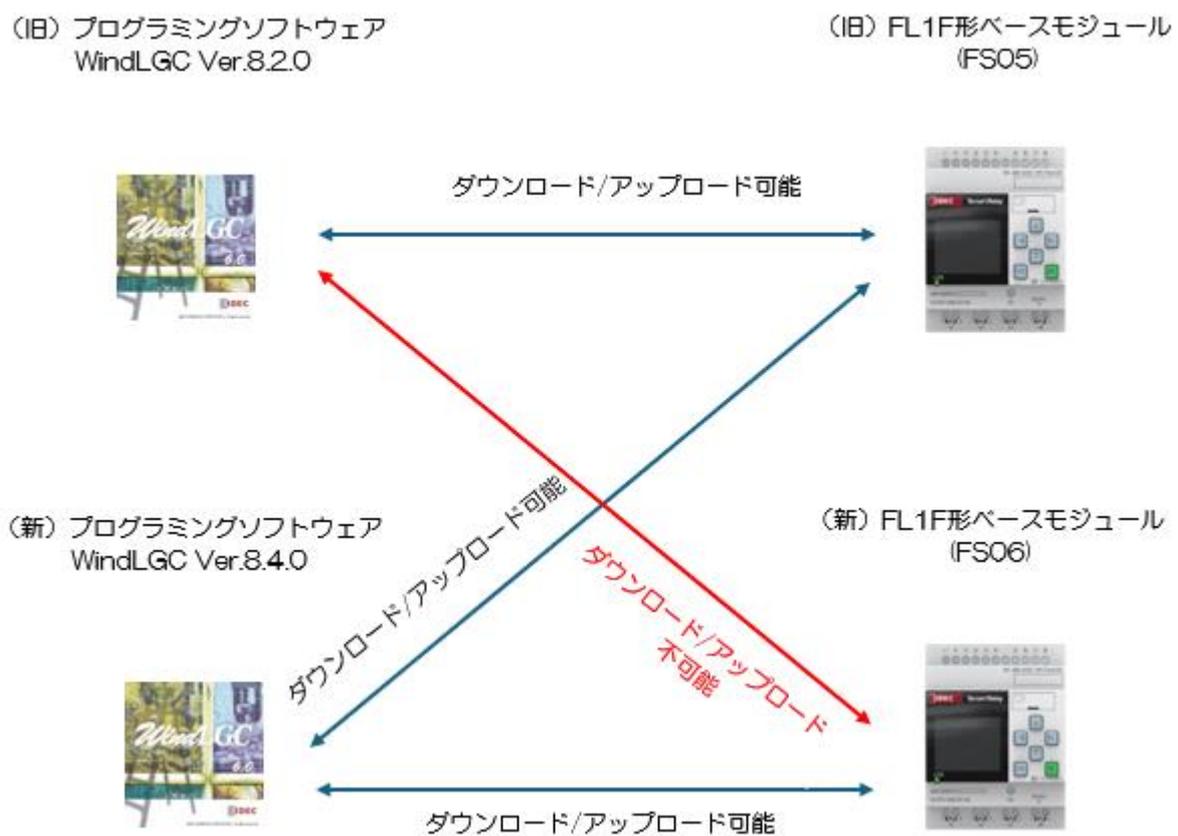
ソフトウェアに関し、以下 2 点の変更を行います。

### 【ソフトウェア仕様変更 1】

WindLGC および FL1F Web Editor において、Windows 11 をサポートしました。

また、FL1F Access Tool において、Office Excel 2016、Office Excel 2019、Office Excel 365 をサポートしました。

新旧プログラミングソフトウェアと新旧ベースモジュールの組合せの関係



### 【ソフトウェア仕様変更 2】

FL1F 形ベースモジュール (FS06) と WindLGC および FL1F Web Editor 間の通信において、HTTP から HTTPS 通信に変更しました。

## ソフトウェア機能追加

各ソフトウェアに関し、以下のとおり機能追加を行います。

### ・FL1F 形ベースモジュールの新旧バージョンでの比較

機能追加	FL1F 形ベースモジュール (FS05) (旧バージョン)	FL1F 形ベースモジュール (FS06) (新バージョン)	詳細
変数メモリ	I1~I24 Q1~Q20 M1~M64 A11~A18 AQ1~AQ8 AM1~AM64 V0~V850	I1~I24 Q1~Q20 M1~M64 A11~A18 AQ1~AQ8 AM1~AM64 V0~V850 VX0~VX2047 VR0~VR511	【機能追加 2】
Web サーバーの HTTPS 通信	-	機能追加	【機能追加 3】
クラウド IoT 接続	-	機能追加	【機能追加 4】
メール送信	-	機能追加	【機能追加 5】
一括ダウンロード	-	機能追加	【機能追加 6】
データログアップロード (Web サーバー経由)	-	機能追加	【機能追加 7】
micro SD メモリカード	FAT32 サポート	FAT32、exFAT サポート	【機能追加 8】
リセットファイル (_reset.bm) によるリセット (SD カード)	-	機能追加	【機能追加 9】
FL1F Web Editor で AWS に登録されている変数メモリにアクセス	-	機能追加	【機能追加 10】
FL1F Web Editor で作成したプロジェクトを AWS にデプロイ	-	機能追加	【機能追加 11】
FL1F Web Editor で新規コンポーネント対応	-	機能追加	【機能追加 12】

### ・WindLGC の新旧バージョンでの比較

機能追加	V8.2.0 (旧バージョン)	V8.4.0 (新バージョン)	詳細
アイコン、テキストサイズの変更	-	機能追加	【機能追加 1】
一括ダウンロード	-	機能追加	【機能追加 6】

・FL1F Access Tool の新旧バージョンでの比較

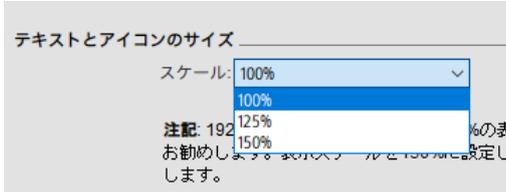
機能追加	FL1F 形ベースモジュール (FS05) (旧バージョン)	FL1F 形ベースモジュール (FS06) (新バージョン)	詳細
変数メモリ	I1~I24 Q1~Q20 M1~M64 AI1~AI8 AQ1~AQ8 AM1~AM64 VO~V850	I1~I24 Q1~Q20 M1~M64 AI1~AI8 AQ1~AQ8 AM1~AM64 VO~V850 VX0~VX2047 VR0~VR511	【機能追加 2】

※上記以外の機能については、仕様変更はありませんので、引き続きご使用いただけます。

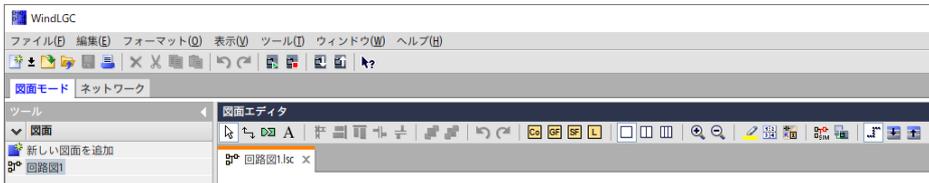
※機能の詳細については、マニュアルを参照ください。

**【機能追加 1】**

アイコン、テキストのサイズを 100%、125%、150%に変更することができます。



• スケールが 100%の場合



• スケールが 150%の場合

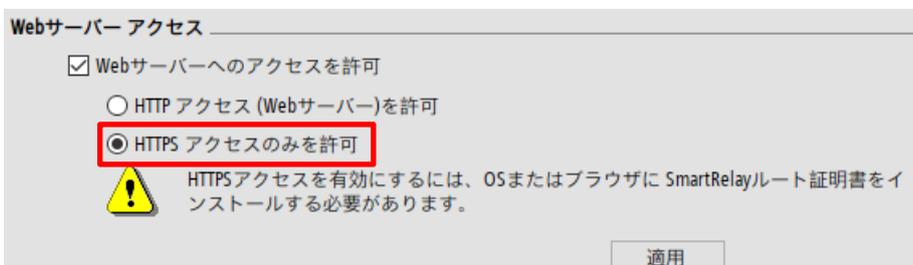


**【機能追加 2】**

変数メモリの VX0~VX2047 および VRO~VR511 を追加しました。

**【機能追加 3】**

Web サーバーアクセスにおいて、セキュリティ機能の強化のため、HTTPS 通信に対応しました。



#### 【機能追加 4】

AWS、Azure、Alibaba、MQTT Broker に接続し、登録した変数メモリの値をクラウドに転送することができます。

例えば、I1（長さ 1）、M1（長さ 1）、VW0（長さ 1）の変数の値をクラウドに転送したい場合、以下のように設定します。

SmartRelay設定

オフライン設定 **オンライン設定**

SmartRelayに接続  
FWバージョンを表示  
IPアドレスを割り当て  
時計の設定  
動作モード  
プログラムとパスワードを設定  
テキストディスプレイ電源  
稼働時間カウンタ  
データログをアップロード  
診断  
夏時間/冬時間  
アクセス制御設定  
動的サーバーIPフィルタ  
NTP設定  
**クラウドデータ転送設定**  
クラウド接続設定  
証明書の設定  
Eメール設定

クラウドデータ転送設定

ID	名前	範囲	タイプ	アドレス	長さ	周波数	期間(d:h:m:s)	変更時	書き込み...
1	test_I	I	Bit	I1	1	<input type="checkbox"/>	5s	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	test_M	M	Bit	M1	1	<input type="checkbox"/>	5s	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	test_V	V	Word	VW0	1	<input type="checkbox"/>	5s	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

変数メモリを登録します

SmartRelay Webサーバーデータ形式  
 配列データ形式

注: これらのデータを FWE Web アプリケーションで使用する場合は、「IDEC SmartRelay Web サーバー データ形式」モードを選択してください。

+   -   インポート   エクスポート

SmartRelay から読み取る   書き込み先 SmartRelay

OK   キャンセル   ヘルプ

【機能追加 5】

以下のイベントに対して、Eメールの送信を行うことができます。

- マーカ（特殊マーカは除く）
- パワーオン
- 運転->停止
- 停止->運転
- ユーザープログラムクリア

SmartRelay設定

オフライン設定 | オンライン設定

概要  
 ハードウェアタイプ  
 入出力設定  
 入出力名  
 パスワード  
 電源投入  
 メッセージテキスト  
 追加情報  
 統計  
 コメント  
 Modbusアドレス空間  
**Eメールイベント設定**

Eメールイベント

ID	イベント&マーケット	Emailサブジェクト	受信グループ
1	運転->停止	運転->停止	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8
2			<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8

Eメール送信のイベントを設定

注記: イベント&マーケットは必須の入力です。入力しないと、このイベント項目のすべての設定は保存されません。

Eメールイベント内容

メールの件名: 運転->停止

Email内容:  
 運転から停止に変更します。

OK | キャンセル | ヘルプ

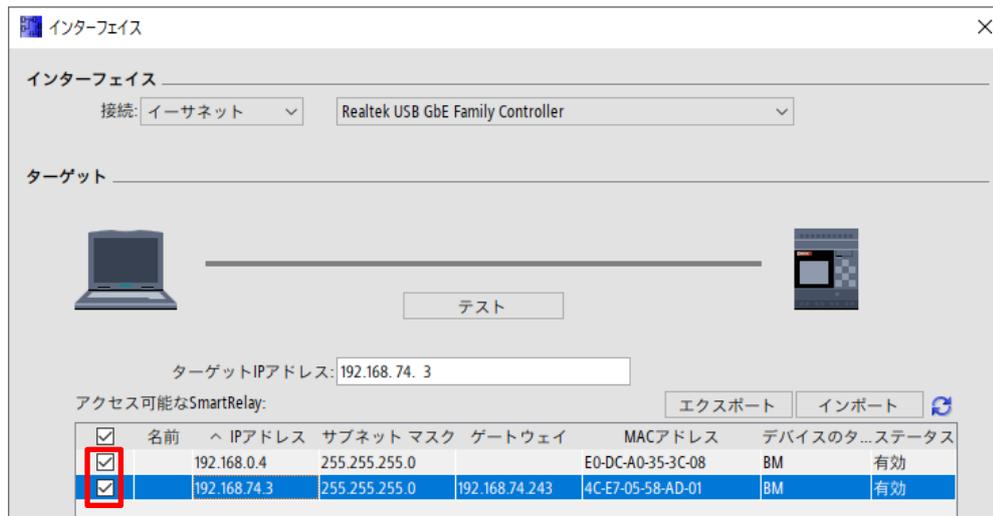
### 【機能追加 6】

#### • プロジェクトの一括ダウンロード

同一のプロジェクトを複数の通信先にダウンロードすることができます。

(ツール > 転送 > 一括ダウンロード > 図面の一括ダウンロード を選択)

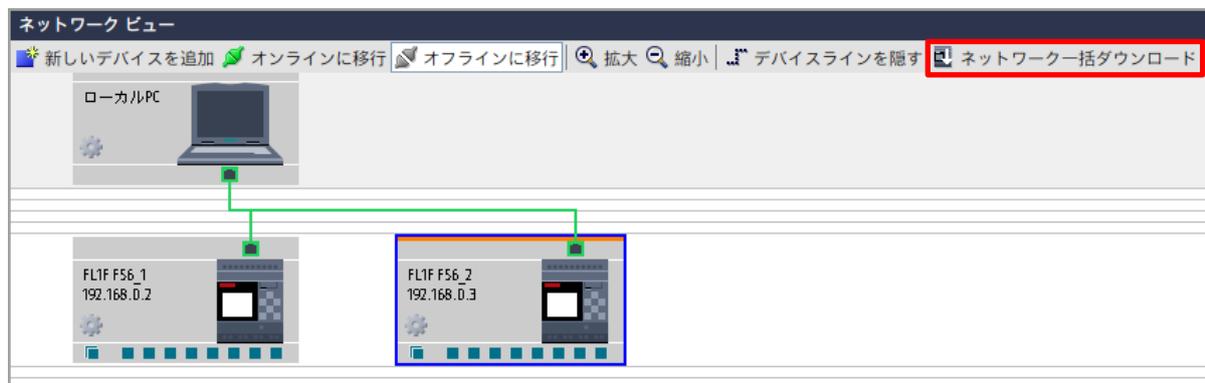
例えば、図面プロジェクトをIPアドレスが192.168.0.4 および192.168.74.3のベースモジュールにダウンロードする場合、以下のように選択します。



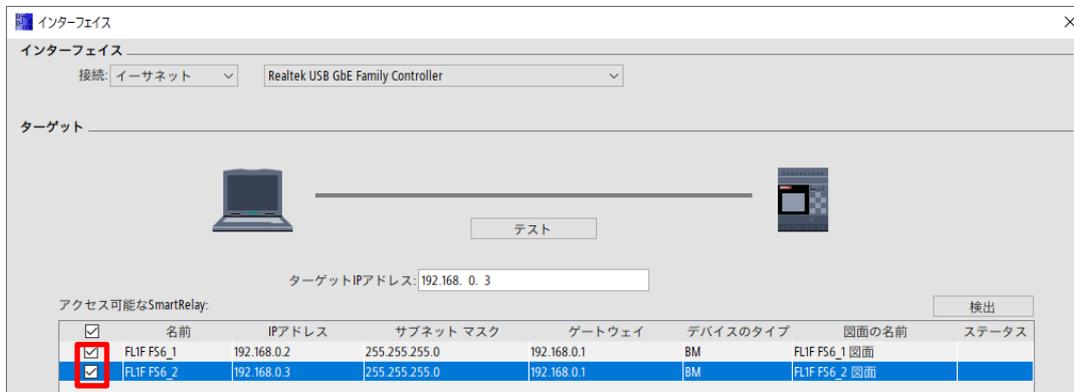
#### • ネットワークプロジェクトの一括ダウンロード

ネットワークビュー内で設定した各プロジェクトをそれぞれの通信先にダウンロードすることができます。

例えば、以下のようにネットワークビューにFL1F FS6\_1 (192.168.0.2) およびFL1F FS6\_2 (192.168.0.3)を配置して、それぞれに対してプロジェクトを設定します。



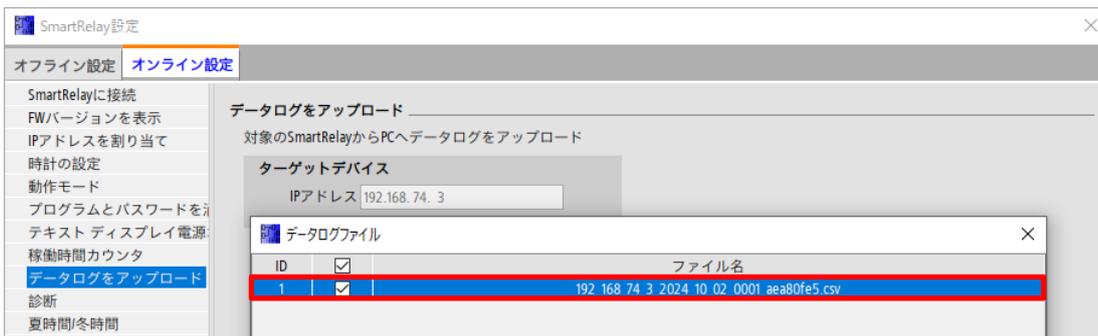
ダウンロード時、以下のように対象のベースモジュールを選択すると、それぞれ設定したプロジェクトを一括でダウンロードすることができます。



### 【機能追加 7】

WindLGC および Web サーバー経由で、データログを PC にアップロードすることができます。

- WindLGC



- Web サーバー



**【機能追加 8】**

FL1F 形ベースモジュール (FS06) において、FAT32 だけでなく exFAT の micro SD メモリカードを対応しました。

**【機能追加 9】**

SD カードのルートディレクトリにリセットファイル (\_reset.bm) を置くことで、FL1F 形ベースモジュール (FS06) を出荷時の状態に戻すことができます。

**【機能追加 10】**

FL1F Web Editor において、AWS に登録されている変数メモリにアクセスすることができます。

ホームページ × IoTモノテーブル × ナビゲータ ×

## IoTモノテーブル

注記: IoTバインディングはクラウドプロ...

適用 追加 削除

AWS に登録されているモノの名前を設定

検索	IoTモノ名
0	FL1F_AWS

ホームページ × タグテーブル × IoTモノテーブル ×

## タグテーブル

注記: グローバルタグはコンポーネントのデータバインディングに...

適用 追加 削除

タグテーブルの IoT モノ名にも設定

検索	名前	IoTモノ名
0	aws	FL1F_AWS

押しボタン - プロパティ ×

- 基本
  - 名前: 押しボタン
  - 位置: 798,120
  - サイズ: 100,100
- アニメーション
  - マウスモード: クリック
  - オン画像: pb\_go.png
  - オフ画像: pb\_stop.png
  - オンテキスト: オン
  - オフテキスト: オフ
- 変数
  - 変数名: aws
  - IoTモノ名: FL1F\_AWS
  - ブロックタイプ: M
  - ブロック番号: M1

### 【機能追加 11】

作成した FL1F Web Editor のプロジェクトを AWS にデプロイすることができます。

デプロイ成功後、表示された URL あるいは QR コードにアクセスすると、デプロイしたプロジェクトが表示されます。



### 【機能追加 12】

以下のコンポーネントを新規にて追加しました。

- 押ボタン（デジタル値コンポーネント）
- レインボー（アナログゲージの形式で数値を表示）
- トレンドビュー（現在のプロセスのタグ値を時間の関数としてトレド形式で表示）
- Web カメラ（Web ページにリアルタイムモニタリング画面を追加）
- PDF（設定した PDF を表示）

## ■ アップデート版

上記の仕様変更および機能追加は、以下バージョンのソフトウェアで対応いたします。FL1F 形ベースモジュールは、2025 年 1 月以降出荷分から順次導入する予定です。

品名	形番
FL1F 形ベースモジュール (FS06)	FL1F-H12RCE, FL1F-H12RCA, FL1F-H12RCC FL1F-B12RCE, FL1F-B12RCA, FL1F-B12RCC FL1F-H12SCD
WindLGC (Ver.8.4.0)	
FL1F Web Editor (Ver.1.2.0)	FL9Y-LP2CDW
FL1F Access Tool (Ver.2.1.1)	

アップデート版の WindLGC、FL1F Web Editor および FL1F Access Tool のアップグレード用インストーラは、12 月に弊社ホームページで公開する予定です。

弊社ホームページよりインストーラをダウンロードし、インストールしてご使用くださいますようお願いいたします。

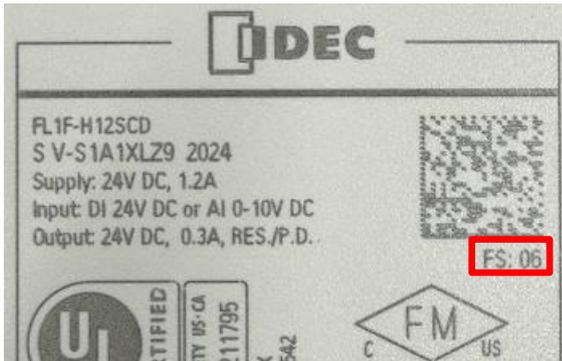
[スマートリレー専用 プログラミングソフトウェア WindLGC](#)

### 識別表示

変更後の製品には、製品本体および個装ケースラベルに表示している「FS」番号にて識別します。

変更前：FS05

変更後：FS06



本体側面



個装ケースラベル